

幾何公差のためのデータム

JIS B 0022-1984

(2005 確認)

昭和 59 年 2 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

機械要素部会 幾何学的公差専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	青木 保雄	千葉工業大学
	大園 成夫	東京大学
	佐藤 豪	慶應義塾大学
	福永 太郎	東京都立工科短期大学
	吉本 勇	東京工業大学精密工学研究所
	加藤 敬	工業技術院計量研究所
	小柳 武昭	工業技術院標準部
	野上 昭三	株式会社アマダ
	杉浦 守彦	石川島播磨重工業株式会社
	中込 常雄	社団法人自動車技術会
	前田 祥彦	キャタピラー三菱株式会社
	佐々木 茂夫	東京芝浦電気株式会社生産技術研究所
	矢島 宣明	株式会社東京精密八王子工場
	桑田 浩志	トヨタ自動車株式会社
	江守 忠哉	財団法人日本規格協会
	西村 伸二	財団法人日本規格協会
	津川 浩造	日本精工株式会社製品技術研究所
	山崎 隆	株式会社日立製作所土浦工場
	広瀬 藤司	株式会社三豊製作所
	浜野 徹	三菱重工業株式会社相模原工場
	松本 美韶	NTN 東洋ベアリング株式会社
(専門委員)	沢辺 雅二	株式会社三豊製作所
(事務局)	中谷 節男	工業技術院標準部機械規格課
	根岸 喜代春	工業技術院標準部機械規格課

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 59.2.1

確認：平成 11.2.20

官 哉 公 示：平成 11.2.22

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会

審議部会：日本工業標準調査会 機械要素部会（部会長 小玉 正雄）

審議専門委員会：幾何学的公差専門委員会（委員長 青木 保雄）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

幾何公差のためのデータム

B 0022-1984

Datums and Datum-systems for Geometrical Tolerances

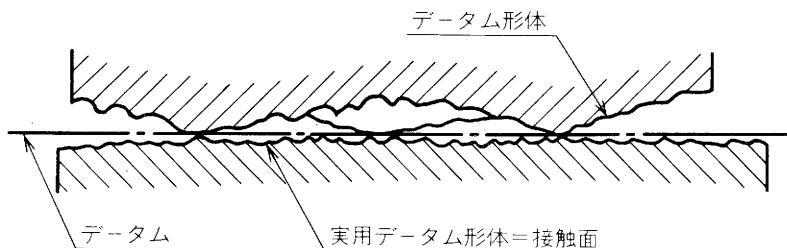
(1999 確認)

1. 適用範囲 この規格は、幾何公差を指示するときに用いるデータム及びデータム系の図示方法及び設定方法について規定する。

2. 用語の意味 この規格で用いる主な用語の意味は、**JIS B 0021**（幾何公差の図示方法）、**JIS B 0621**（幾何偏差の定義及び表示）によるほか、次による。

(1) データム 関連形体に幾何公差を指示するときに、その公差域を規制するために設定した理論的に正確な幾何学的基準（図1）。例えば、この基準が点、直線、軸直線、平面及び中心平面の場合には、それぞれデータム点、データム直線、データム軸直線、データム平面及びデータム中心平面と呼ぶ。

図 1



(2) データム形体 データムを設定するために用いる対象物の実際の形体（部品の表面、穴など）（図1）。

備考 データム形体には、加工誤差などがあるので、必要に応じてデータム形体にふさわしい形状公差を指示する。

(3) 実用データム形体 データム形体に接してデータムの設定を行う場合に用いる、十分に精密な形状をもつ実際の表面（定盤、軸受、マンドレルなど）（図1）。

備考 実用データム形体は、加工、測定及び検査をする場合に、指示したデータムを実際に具体化したものである。

(4) 共通データム 二つのデータム形体によって設定される单一のデータム。

(5) データム系 公差付き形体の基準とするために、個別の二つ以上のデータムを組み合わせて用いる場合のデータムのグループ。

(6) データムターゲット データムを設定するために、加工、測定及び検査用の装置、器具などに接触させる対象物上の点、線又は限定した領域。

3. 記号 データム及びデータムターゲットの記号は、表1のとおりとする。

引用規格 : JIS B 0021 幾何公差の図示方法

JIS B 0621 幾何偏差の定義及び表示

対応国際規格 : ISO 5459 Technical drawings—Geometrical tolerancing—Datums and datum-systems for geometrical tolerances

関連規格 : ISO/DIS 1101 Technical drawings—Geometrical tolerancing—Tolerances of form, orientation, location and run-out—Generalities, definitions, symbols, indications on drawings

ISO 1101/II Technical drawings—Tolerances of form and of position—Part II: Maximum material principle